◇乗り降りしやすい駅前ロータリー（送迎場）について

○　現行

駐車可能台数
- ・一般車　45台
- ・タクシー　14台
- ・路線バス　3台
- ・貸切バス　5台
- ・送迎バス　3台

○　活用案

区分	パターン1	パターン2	パターン3	パターン4
イメージ				
特徴	・現行に近い。 ・区画線を引くことにより、一般車の駐車台数を増やす。	・東口ロータリーに送迎バスの駐車を可能とする。 ・観光客の乗り降りしやすくなる。	・東口ロータリーに一般車の駐車を可能とする。便利になる一方、混雑や安全上の課題が生じる。	・一般車とタクシーの駐車場所を入替する。慣れるまで、混雑や安全上の課題が生じる。
想定される駐車可能台数	・一般車　62台 ・タクシー　14台 ・路線バス　3台 ・貸切バス　5台 ・送迎バス（旅館等）　2台	・一般車　67台 ・タクシー　12台 ・路線バス　3台 ・貸切バス　4台 ・送迎バス（旅館等）　2台	・一般車　74台 ・タクシー　7台 ・路線バス　3台 ・貸切バス　2台 ・送迎バス（旅館等）　2台	・一般車　57台 ・タクシー　8台 ・路線バス　3台 ・貸切バス　3台 ・送迎バス（旅館等）　2台

○　意見

A 班

・利用者が慣れるために、段階的に変更する。
　まず、「パターン2」」を半年ほど実施し、最終的に「パターン4」へ移行する。

B 班

・「パターン3」と「パターン4」のハイブリット方式を提案。
・タクシーの利用頻度が低いため、一般車両の駐車を確保する
・放射線状に区画を設け、車両から降りる人と乗る人の動線を分ける。

C 班

・「パターン3」が望ましい。
・東口ロータリーが十分に活用されていない。タクシー分がもったいない。
・一般車両を入れなければ、賑わいを創出できないので、工夫が必要。
・(パターン4で示されている)南口広場をタクシーの駐車場所(最大 22 台　駐車可能)とすると、一般車のスペースが少なくなり、利便性の低下が懸念される。
　南口広場は、一般車用でよい。
　タクシーは、夕方から夜にかけても、2台しか駐車していない印象があり、東口ロータリーで十分である。
・地鉄の新黒部駅前の駐車場について、区画線を引き直しする案を提示されたが、提案には少し、無理があると感じる。
　送迎バスは「パターン3」の改良系として東口ロータリーでの駐車可能とすることも考えられる。
・東口ロータリーは、従前のタクシー、路線バス、貸し切りバス、一般車とする。南口広場及び地鉄新黒部駅の一般車の駐車スペースは従前どおりとすることが望ましい。

D 班

・提案された「4つのパターン」のいずれとも異なる考えを提案したい。
　東口ロータリーは、タクシー(2台＋待機2台程度で十分)、一般車が、駐車可能とする。
・南口広場は、一般車と送迎バス(2～3台)とする。公道からの入口付近を送迎バス駐車場所とする。
・地鉄の新黒部駅前は、貸し切りバス3台ほどのスペースを確保し、残りは一般車にすると使いやすくなる。

その他意見

・タクシーの駐車状況の確認